

# みんなのでつくるろう 日の出町!

平成31年度 町長施政方針 (骨子)



橋本町長

## 日の出町の行政について

私が、平成22年4月に第5代町長に就任すると同時にスタートいたしました。第四次日の出町長期総合計画「みんなのでつくるろう日の出町」は基本目標を「安心・躍進・自立のまち」と定め、10年間のまちづくりの指針としてまいりましたが、奇しくも平成が終わる31年度が最終年次となり、万感胸に迫るものがございます。

この間、東日本大震災を始めとする災害や景気の停滞など多事多難でありましたが、31年度は第五次長期総合計画を策定するとともに、まちづくりの新たな視点である「環境先進都市ふるさと日の出」の創造に向け、第四次長期総合計画の集大成となる施策を実施してまいります。

## 「躍進 ひので! ニュー5大作戦」の展開

1 日本一の福祉のまちづくり  
 ↳子育て支援の充実とお年寄りや障がい者にやさしい町づくり

### ■子育て支援の充実

#### (1) 子育て支援策

次世代育成クーポンポンや医療費の助成は、少子化対策・子育て支援に有効であることは平成29年の合計特殊出生率が都内平均1.21を上回る1.47という数値により実証されていることから、今後も検証を継続しながら、制度を維持します。

(2) 安全対策保育事業補助金等

保育園での午睡(ごすい)時の事故防止を図るベビーセンサーを購入するための安全対策保育事業補助金、認定こども園を対象とした保育士等キャリアアップ補助金などを計上しました。

#### (3) 子育て支援の充実

昨年4月に阿伎留医療センター敷地内に設置された秋川流域病児・病後児保育室「ぬくもり」の運営、保育対策総合支援事業費補助金による保育従事職員用の

宿舍借り上げ、学童クラブの体制の充実、ファミリーサポートセンターの運営の充実や特定不妊治療費の助成なども継続します。

また、町内の私立幼稚園が本年4月より認定こども園への移行を予定していることから、保育環境の一層の整備が進むものと期待しています。

#### (4) 子育て支援住宅

30年度末に完成する諏訪下住宅第4期の1棟は、新井住宅を例として子育て支援住宅と位置づけ、子育て世代を優先した入居募集を行います。

#### ■お年寄りや障がい者にやさしい町づくり

#### (1) 高齢者支援

75歳以上の方を対象とする高齢者医療費助成制度、70歳から75歳未満の方を対象とする元気で健康に長生き医療費助成制度、病気の早期発見を促す人間ドック受診料の助成、年齢の節目ごとに支給する元気に長生き奨励金など、今後も検証を継続し、高齢者の皆様の役に立つ持続可能な制度としていきます。

#### (2) 地域公共交通の検討

高齢者の皆様から高い評価をいただいている「外出支援バス」や町民の方が利用できる町内循環バス「ぐるり



外出支援バスに試乗する橋本町長

ぐるりの出号」等の運行の在り方、また、路線バスとの関係などを総合的に検討する「地域公共交通計画」に基づき、外部有識者会議と庁内プロジェクトチームにより更なる研究・検討を進めると同時に、私が昨年12月に外出支援バスに同乗して経験したことも参考として、利用者の利便性の向上を目指します。

#### (3) 障がい者支援

障がいのある人が、ライフステージに応じて可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、「障がい者就労・生活支援センター」あるって」の事業を更に充実し、障がい者の自立と社会参加を支援します。

#### ■がん対策

がんは日本人の二人に一人がかかる病気であると言われていますが、私もこのことについては身をもって体験し、あらためて患者さんやご家族の大変さを実感しました。

町では、がん検診の充実や、年齢の節目ごとの人間ドック受診勧奨を行い、がんの早期発見に努めており、がんが発見された場合は、がん医療費の助成を活用し、治療に専念できることを周知していきます。

#### ■特定健康診査及び人間ドックの受診助成

超高齢社会を迎えるにあたり、元気で健康に長生きは町民の願いであり、また、町の願いでもあります。これを実現する

ためには、病気の予防・早期発見は欠かせないものであり、各医療保険者の実施する特定健康診査、或いは、町でも受診料の助成を行っている人間ドックは、非常に有効であると考えてます。

現在、人間ドックの受診料助成は、75歳と70歳の2種類の助成を行っています。75歳の助成に係る広域連合からの補助金の廃止が決定し、3年間の緩和措置の後2020年度には補助金が終了します。今後の人間ドック助成については、70歳前後での受診勧奨を強化しながら、補助金の廃止される2021年度以降は75歳の人間ドックの助成は廃止せざるを得ないと考えています。

**2 ひのでA (安全)・A (安心) 大作戦の展開**

**■全町の安全安心 交通安全対策**

(1) 交通安全対策  
昨年は、昭和63年4月に「交通安全都市宣言」を行ってから30年という節目の年であり、あらためて、全町的に交通安全運動に取り組んでいきたいという思いから、警察、交通安全協会、自治会長連合会など関係各方面のご理解・ご協力のもと、交通安全教室等の開催や、交通安全標語の募集を行い、多くの皆様の応募の中から最優秀賞等が決定しました。31年度では、最優秀賞の標語を懸垂幕で役場庁舎へ掲示し、のほり旗にして自治会

等へ配布することにより交通安全を全町に周知するとともに、交通安全教室等も継続します。

**(2) 特殊詐欺対策**

高齢者を狙った特殊詐欺を防止するため、電話の自動録音機を高齢者世帯へ配布するほか、既存の電話機の留守録機能の活用について周知していきます。

**(3) ごみの減量・減容等**

ごみの戸別収集・有料化は、本格開始から5年が経過しましたが、今後は一般廃棄物組成調査の結果を活用し、事業の検証を行い一層のごみの減量・減容、資源化を図ります。

**■消防団**

日々の活動の支援および団員の活動時の安全確保のため全消防団員の活動服の更新、資機材の充実や団員、家族の福利厚生等により、活動しやすい環境づくりに努めます。

**■再生可能エネルギー**

地球温暖化対策としての再生可能エネルギーの活用は喫緊の課題であり、公共施設の老人福祉センター、やまびこホール、グリーンプラザに太陽光発電や太陽熱利用システムを順次導入しました。

今後、「環境先進都市ふるさと日の出」の創造に向け、住宅用の太陽光発電や熱利用機器の設置への助成を継続することにより再生可能エネルギーの普及を支援し、CO<sub>2</sub>の削減、温室効果ガス対策と

して、街路灯や庁舎をはじめとする公共施設へのLED照明の設置などを、計画的に推進します。

**■生活道路等の整備**

日の出団地42号線舗装打換工事は、老朽化した道路舗装について打換を行うもので、補助道第3号線外舗装打換工事はイオンモール利用者や住宅地への出入りが多く亀裂や陥没が見られるため打換を行うもの、都水道工事に伴う道路舗装工事は、安全性の確保と経費の削減を図るため、東京都水道局が実施する工事に合わせて町道の舗装工事を行うものです。

また、玉の内地内赤道簡易整備工事は、地元自治会からの陳情に基づき、残土埋め立て予定地内の町道（赤道）の簡易的な整備を行うものです。

**■橋梁**

(仮称)東光院橋は、長年にわたる議員の皆様や地域の皆様からの強い要望に基づき、いよいよ事業が開始されます。財源はすべて一般財源となるため非常に厳しいものがございますが、災害時の避難路として、また地域の交流や平井・生涯青春ふれあい総合センターの利便性の向上などを目的として、橋

長は36m、幅員は3.8mを予定しており、31年度は下部工を、2020年度には上部工を施



東光院橋の完成イメージ図

工します。

また、向殿橋、北足下田橋、中里橋は、橋梁点検の結果に基づき、危険個所の補修工事を行うものです。

**■町営住宅**

諏訪下住宅の建替えが終了したことから、今後は長寿命化の観点から適正な維持管理に努めていきます。

また、「子育て支援の充実」でも触れましたが、30年度末に完成する1棟は、子育て世帯を優先した入居者の募集を行います。

**■(仮称)梅ヶ谷(うめがた)トンネル**

用地買収や青梅市側では関連工事もあり、着実に進捗していると伺っています。

**3 豊かな創造性に富んだ児童・生徒を育成するための教育の充実による人づくり**

**(1) 「いじめ」の防止**

マスコミでもたびたび話題となる学校におけるいじめは、いじめ防止対策推進条例に基づき学校、教育委員会を中心として「いじめ」の防止に取り組んでいます。

**(2) 小中学校の整備**

小中学校の衛生環境の改善を図るトイレの洋式化は、31年度から改修工事を順次予定しており、31年度は平井、大久野小学校の工事を実施します。本宿小学校については、全般的な改修工事のなかで実施します。

引き続き2020年度には、平井、大久野中学校のトイレの洋式化を予定しています。

老朽化の著しい本宿小学校は、30年度に実施設計が終了し、31年度から3年間の計画で「全般的な改修工事」を実施します。計画としては、31年度は屋上、北側外壁や空調施設の改修を予定しています。

**(3) 指導室**

指導室は設置以来、教員の指導力の向上に向けた取り組みを行っておりますが、31年度は、日の出町学校における働き方改革推進プランによる「教員一人一人の心身の健康保持と職務環境の整備による、学校教育の質の維持向上」を実現するため、教員のタイムマネジメント力向上支援事業を行います。

**(4) 教育環境の充実**

教育環境の改善に不可欠な小中学校の特別教室等へのエアコン設置を順次行います。

**(5) 学校給食**

近年、学校給食センターの機器の老朽化に伴う入替・更新を進めており、今後一定期間の使用を可能とするため、31年度は蒸気回転釜の交換およびセンター屋根の改修を行い、調理の作業環境や衛生管理の向上を図り、安全で質の高い給食の提供を行います。

**(6) 社会教育**

従前の体育協会をスポーツ協会と名称変更し、NPO法人とするための設立総会が開催され、本年4月にはNPO法人「日の出町スポーツ協会」が設立されることから、今後一層のスポーツの振興が図られることが期待されます。このほか、総合型地域スポーツクラブ・文化クラブの支援、育成を行います。

亜細亜大学との包括的協働・連携協力に関する協定の一つとして、スポーツを通じて町民と大学との交流を深めます。

また、本年10月に開催予定の「町民体育祭」は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成もかねて、多方面のご意見をお伺いして、自治会對抗の形式によらずスポーツ協会への委託等を行い、町民個人がそれぞれに参加する形式で実施することを検討します。

**4 元気ある活気に満ちた**

**商工観光業と農林業の振興**

**(1) ひので野鳥の森自然公園**

従前から(仮称)野鳥の森・こども自然公園として事業計画を進めてきましたが、本年1月に開催した(仮称)野鳥の森・こども自然公園運営連絡協議会で名称の決定を行うとともに、記念式典の開催や管理運営、活用方法などについて



竣工した管理棟

の協議を行いました。なお、記念式典は、本年4月10日に関係者および新島村長等をお招きして開催する予定です。

**(2) 観光関係**

観光協会が一般社団法人として認可されたことに伴い、町から管理職を1名派遣し事務局機能の強化を図りました。これにより、自立した観光事業を行なうことができ、町としても連携・支援を行いつつ、更なる事業展開を大いに期待しています。



一般社団法人として認可された観光協会

次に、さかな園については、手軽に魚釣りやバーベキューができる施設として、また、集会所として町の内外から多数のお客様をお迎えしており、31年度は、トイレの改修によりバリアフリー化や衛生環境の改善を進めるとともに、施設内に釣り場等の案内看板を設置し、利用者の利便性の向上を図ります。

**(3) 農業関係**

新規就農者定着支援事業は、認定新規就農者に対し施設の整備費や機械等の購入費を補助し、早期に安定した農業経営ができるように支援します。

**(4) 商工関係**

ひのでちゃん行政カードは、28年度から実施し、現在約8千535枚発行されている。

ます。町が実施する事業等に参加・協力すると行政カードにポイントがたまり、満点になると町内の日の出カード加盟店で500円分の買い物ができることが、事業等への参加者の増加につれて周知されつつあります。また、カード会加盟店からのカードの換金も徐々に拡大しており、換金額も累計で約166万円となっています。

次に、住宅改修等補助金は、住宅のリフォームに対する補助を行うことにより、住宅の延命化と町内業者の振興を図るもので、30年度の現時点の実績は215万円を超え、工事費の総額は3千8万円を超えていることから、31年度も継続して実施します。

また、消費税の引上げに伴う低所得者や子育て世帯の消費に与える影響の緩和と地域における消費を喚起・下支えるための「プレミアム付商品券」の発行について、関係機関・団体と協議を進めます。

**(5) 林業関係**

31年度は、森林施業の機械化、木材搬出性の向上等を目的として、幸神入林道および不動沢林道の開設事業並びにタルクボ林道の改良事業について、関係機関と協議を進め実施します。

また、森林再生事業である、間伐や枝打ち等も引き続き実施します。

**(6) 肝要の里**

農業構造改善事業として12年にオープン

ンしましたが、なかなか所期の目的を達成できない状況にあり、そこで新たな事業展開として「ひのでマルシェ」などのイベントを開催し、活性化を図っています。また、「ひのでちゃんねぎラー油」などの新商品の開発も行っているほか、民間事業者からの依頼により地元産の野菜を加工して納品することなどを検討しています。



新発売された「ひのでちゃんねぎラー油」

いずれにしても、町の重要な観光拠点の一つでもあり、年間を通じて各種の団体によるイベントも開催され、一定の集客力は持っていることから、今後も活用を図っていきます。

また、梅ヶ谷トンネルの工事も進捗していることから、テレビ番組で紹介される館者が増加している温泉センター、施設改修の進行するさかな園、通称日の出（ひので）三山（さんざん）（日の出山、麻生山、勝峰山）、白岩の滝など観光スポットとの連携も重要と考えています。

## 5 総合文化体育センター並びに野外スポーツ施設の設置推進

昨年3月には、第3期総合文化体育センター設置検討委員会の答申に基づき「(仮称)日の出町総合文化体育センター基本計画」を策定しました。基本計画は、

総合文化体育センターの規模、施設の内容、建設および運営に関する手法等について述べられています。この計画を策定した目的は東京たま広域資源循環組合との交渉・打ち合わせの基礎資料として使用することであり、本計画を循環組合管理者へ提示するとともに、事務局へも送付しています。

しかしながら、総合文化体育センターを設置する相沢沖覆土材置場は二ツ塚処分場の埋め立てに必要な覆土材を保管する場所であり、今後の埋め立て等に関する循環組合の計画の確認と調整が必要なことから、早期の用地確保を目指し本年度も各種の調整を進めます。

以上が、平成31年度の主要な事務事業です。

## 平成31年度の予算案

### 予算編成の基本方針

- (1) 「躍進 ひので！ニユー5大作戦」を中心施策と定め、第四次長期総合計画の集大成として、着実に取り組むこと
- (2) 行政改革の不断の取り組み強化として、全ての施策・事務事業の必要性等を見極め、「スクラップアンドビルド」「サセット方式」により、各事業は概ね3年を目標に検証を行うこと

この2点を基本方針として予算編成に取り組みました。

## 財政規模

平成31年度の一般会計予算案の総額は、前年度比4.7%増の94億円となり、まさに未来に向かって躍進する日の出町に相応しい予算となりました。

また、予算規模は当初予算ベースで平成10年以降では、最大の規模となつていきます。

歳入面では、根幹をなす町税が固定資産税と法人住民税の増により前年度比14%増の26億1千795万9千円となり、地方交付税は臨時財政対策債との見合い等により前年度比13.4%の増、また、東京都の市町村総合交付金については23%の増を見込むなど財源の確保に努めました。新規の投資的事業については、世間の負担の公平化の観点と財源不足に対応するため町債を活用するとともに、財政調整基金の取り崩しを行わざるを得ないこととなりました。

歳出面では、31年度の重点事業である「躍進 ひので！ニユー5大作戦」の各事業経費は政策経費として必要額を確保し、住民サービスの維持につとめたところです。

また、厳しい財政環境の中にあっても、住民サービスは低下させない、継続事業はストツプさせない、を念頭に温かみを感じられる予算編成を行ったものです。

この一般会計に国民健康保険などの4つの特別会計を加えた予算の総額は、

141億4千700万円となり、前年度比2.9%の増額となりました。

## 結び

平成31年度の町政を進めるにあつたビジョンと政策、これを裏付ける予算等について申し上げましたが、これらを展開するためには、それぞれの工程をお示しし、町民の皆様並びに議員各位のご理解を得ることが不可欠であり、そのためには常に努力をしていかなければなりません。

今後も、引き続き町政を充実・発展させていくため、この町の主人公である町民の皆様、議員各位並びに執行機関である、私、町長をはじめとする各行政委員会及び行政委員、また、執行機関を補助する町職員が、「みんなできつろう 日の出町！」を合言葉に、それぞれの役割や責務をはたし、理解し、協力し合うことが一番大切であると思います。

結びとなりますが、この日の出町の限りない発展と、町民の皆様、町議会および議員各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。平成31年度は、職員の一層の奮闘努力を期待して、平成31年度の施政方針といたします。

平成31年3月1日

日の出町長 橋本聖二